

2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3097 URL <https://www.monogatari.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加治 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・成長戦略担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	14,560	15.9	1,073	8.5	1,258	13.9	825	23.2
2018年6月期第1四半期	12,554	19.0	989	95.8	1,104	88.3	670	72.8

（注）包括利益 2019年6月期第1四半期 817百万円（23.6%） 2018年6月期第1四半期 661百万円（69.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	137.31	136.78
2018年6月期第1四半期	111.52	111.07

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	30,493	15,852	51.7
2018年6月期	29,735	15,267	51.0

（参考）自己資本 2019年6月期第1四半期 15,775百万円 2018年6月期 15,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	28,967	15.3	1,813	7.0	2,031	5.4	1,258	4.5	209.34
通期	60,432	15.9	3,949	17.6	4,400	13.8	2,742	14.9	456.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1Q	6,016,112株	2018年6月期	6,013,272株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	822株	2018年6月期	822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1Q	6,014,363株	2018年6月期1Q	6,009,055株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

(日付の表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費回復の傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや、エネルギー費の上昇、人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、地震や台風などの自然災害による売上高への影響により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、既存店舗のリニューアル、新メニュー開発など、店舗の収益拡大に向けた施策を進めて参りました。また、新業態の開発、人材の採用や教育面の強化、物流体制の見直しを図るとともに、世代交代と業務執行体制の一層の強化を目的とした機構改革を実施し、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりに取り組んで参りました。

上述の取組みにより、国内既存店の売上高は、直営店においては前年同期比2.8%増、フランチャイズ店においては前年同期比0.8%増と堅調に推移しました。

新規出店につきましては、当社グループ全体で、直営店（国内）3店舗、フランチャイズ店（国内）4店舗、海外に3店舗の出店を実施した結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は479店舗（直営店255店舗、フランチャイズ店207店舗、海外17店舗）となりました（後掲表1）。

以上の結果により、売上高は14,560,334千円（前年同期比15.9%増）、営業利益1,073,316千円（前年同期比8.5%増）、経常利益1,258,217千円（前年同期比13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は825,820千円（前年同期比23.2%増）となりました。

（注）国内既存店とは、18ヶ月以上開店している国内の店舗を対象としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

①焼肉部門

当第1四半期連結累計期間中において、「焼肉きんぐ」は4店舗の出店（直営店1店、フランチャイズ店3店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は221店舗（直営店133店、フランチャイズ店88店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,530,509千円（前年同期比12.4%増）となりました。

②ラーメン部門

当第1四半期連結累計期間中において、「丸源ラーメン」は2店舗の出店（直営店1店、フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は134店舗（直営店48店、フランチャイズ店86店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,847,260千円（前年同期比23.1%増）となりました。

③お好み焼部門

当第1四半期連結会計期間末におけるお好み焼部門の店舗数は42店舗（直営店22店、フランチャイズ店20店）であります。

以上の結果により、直営店の売上高は659,986千円（前年同期比0.0%減）となりました。

④ゆず庵部門

当第1四半期連結累計期間中において、「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は1店舗の出店（直営店1店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当第1半期連結会計期間末の店舗数は61店舗（直営店48店、フランチャイズ店13店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は2,505,399千円（前年同期比27.6%増）となりました。

⑤専門店部門

当第1四半期連結会計期間末における専門店部門の店舗数は4店舗（直営店4店）であります。

以上の結果により、直営店の売上高は232,394千円（前年同期比4.3%増）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第1四半期連結累計期間中にフランチャイズ店4店舗の出店を実施しました。当第1四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は207店舗となりました。

以上の結果により、売上高は994,134千円（前年同期比7.2%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。

売上高は790,649千円（前年同期比34.9%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営（国内）	F C（国内）	海外	2018年9月末 店舗数
焼肉部門	133	88	—	221
ラーメン部門	48	86	—	134
お好み焼部門	22	20	—	42
ゆず庵部門	48	13	—	61
専門店部門	4	—	—	4
その他部門	—	—	17	17
合計	255	207	17	479

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は30,493,539千円となり、前連結会計年度末と比較して758,292千円の増加となりました。これは主に売掛金が104,361千円増加したこと、設備投資により有形固定資産が664,564千円増加したこと、新規出店用地の契約により差入保証金が43,197千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は14,640,961千円となり、前連結会計年度末と比較して173,576千円の増加となりました。これは主に未払法人税等が563,740千円減少した一方で、買掛金が117,714千円増加したこと、賞与引当金が221,395千円増加したこと、長期借入金が404,806千円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は15,852,578千円となり、前連結会計年度末と比較して584,716千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が585,322千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.7%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2018年8月10日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,491,227	5,334,854
売掛金	911,792	1,016,153
商品及び製品	296,741	297,206
原材料及び貯蔵品	65,986	66,810
その他	1,075,757	1,181,220
貸倒引当金	△303	△370
流動資産合計	7,841,202	7,895,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,457,824	14,684,970
その他(純額)	2,625,193	3,062,611
有形固定資産合計	17,083,017	17,747,582
無形固定資産		
	317,834	318,508
投資その他の資産		
差入保証金	3,647,561	3,690,759
その他	845,630	840,814
投資その他の資産合計	4,493,192	4,531,573
固定資産合計	21,894,044	22,597,664
資産合計	29,735,247	30,493,539
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,808,111	1,925,826
未払法人税等	1,042,574	478,834
株主優待引当金	21,723	36,557
賞与引当金	—	221,395
その他	4,994,556	4,985,693
流動負債合計	7,866,967	7,648,307
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,672,410	4,077,216
退職給付に係る負債	304,702	312,296
資産除去債務	401,163	405,519
その他	1,222,141	1,197,621
固定負債合計	6,600,417	6,992,654
負債合計	14,467,384	14,640,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,711,136	2,714,691
資本剰余金	2,576,308	2,579,863
利益剰余金	9,913,330	10,498,652
自己株式	△1,293	△1,293
株主資本合計	15,199,482	15,791,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,857	4,819
為替換算調整勘定	△3,845	△14,111
退職給付に係る調整累計額	△7,986	△6,985
その他の包括利益累計額合計	△6,974	△16,276
新株予約権	62,983	63,325
非支配株主持分	12,369	13,614
純資産合計	15,267,862	15,852,578
負債純資産合計	29,735,247	30,493,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	12,554,796	14,560,334
売上原価	4,258,831	4,904,057
売上総利益	8,295,964	9,656,277
販売費及び一般管理費	7,306,901	8,582,960
営業利益	989,063	1,073,316
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,149	4,209
受取賃貸料	3,840	3,840
協賛金収入	100,660	210,524
為替差益	9,761	—
その他	12,329	3,911
営業外収益合計	130,741	222,484
営業外費用		
支払利息	6,502	5,736
為替差損	—	23,598
賃貸収入原価	2,372	2,357
その他	6,588	5,891
営業外費用合計	15,463	37,583
経常利益	1,104,341	1,258,217
特別損失		
固定資産除却損	1,596	20,686
減損損失	50,652	—
店舗閉鎖損失	—	5,984
店舗閉鎖損失引当金繰入額	59,720	—
特別損失合計	111,969	26,670
税金等調整前四半期純利益	992,371	1,231,547
法人税等	322,252	404,379
四半期純利益	670,118	827,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	670,118	825,820

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	670,118	827,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267	△37
為替換算調整勘定	5,841	△10,368
退職給付に係る調整額	△14,984	1,000
その他の包括利益合計	△8,876	△9,405
四半期包括利益	661,241	817,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	661,241	816,517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,244

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社は飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。